

「第 13 回準備協議会報告」



ときわ台しやれ街準備協議会事務局

朝・夕随分涼しくなり、空の色も日毎に碧さを増しています。
虫の声も騒がしくなってきました。いよいよ味覚の秋です。ガイドラインも実りまじかです。

■お知らせ 1 : 三町会長との面談

8月11日(木) 須田一・二丁目町会長、高山東町会長、小久保常盤台町会長との面談が行われました。準備協議会からは中島、服部、清水アドバイザーが参加し、活動の主旨、方向性の概要と「景観ガイドライン」作成に対する今後の活動計画を説明し、活動への理解とご支援をお願いいたしました。

今回のように、三町会長お揃いいただいた説明は初めてでしたが、活動に対する理解と精神的支援は惜しまないとの前向きのお言葉をいただきました。

■お知らせ 2 : 都の街並み景観係の方々がときわ台視察

8月23日(火) 午後、東京都街並み景観係・吉丸係長、高橋主任のお二人がときわ台に視察にされました。

東京都しやれ街推進条例で8ヶ所の街が選ばれましたが、ときわ台が、ガイドライン作成に向けて最も準備が進んでいるようです。都の期待も大きいとの印象を受けました。

■お知らせ 3 : ガイドライン案に向けての議論

前回の議論を踏まえて、街づくりの理念と、ときわ台の街にはどんな課題があるかに付いての議論を行いました。

—理念について—

①現在ときわ台にある“まちづくり憲章”(平成9年に一・二丁目町会と区による策定)をどのように考えるか

*この憲章の考え方は分かるが、行動計画が無いため、お題目のような状況にある。

*戦前から憲章はあったので、この憲章の位置づけが分からない。この中味にこだわる必要は無い。

*板橋区の建築行政窓口にはこの憲章が置かれているので、不動産業界にその存在が認知されつつある。

*文化とは継承されるべきものであり、せっかく立派な憲章があるのだから、その精神を実現する事を目指したい。

以上のことから“街づくり憲章”自体を理念とする必要は無いが、その精神を引き継ぐ方向で考える。

②理念の具体化について

*アンケートの結果、関心度の高い項目の“おしゃれな待ちとは”に見られた、緑が多く、犯罪が無く、家並みが美しく、四季を感じられ、高齢者にも安心な街、を取り入れて、日本一おしゃれな街をキャッチフレーズに、景観、緑、安全安心、住・商・行政協力の仕組み等を考える事が大切と考える。

★緑豊かで調和が取れ、子供から老人まで安心して暮らせる街、から言うと景観のキーワードは緑ではないか。

★上記の案に＋おしゃれ・景観＋住・商・行政協力をベースに、心豊かと皆が参加を加えると、ときわ台憲章の精神が網羅できる。できれば、安心の後に“楽しく”を加えたい。

★まちづくり憲章を知らない人も多ようなので、最初に「まちづくり憲章の精神に基づき・・・」等の扱いがあっても良い。

以上から、「緑豊かで調和が取れた景観をもち、誰もが安心して楽しく暮らせる、日本一おしゃれな(又は、しゃれた)街ときわ台」が理念の案となりました。

如何でしょうか？

■お知らせ 3 : 他団体からの申し入れ

駅前ロータリーで光のページェントをやるという企画が有り、誘いを受けました。が、準備協議会は今すぐ何かを企画して実行していくと言う会ではなく、これから先、ときわ台の街並を良くしていくため、のガイドラインを作成する事を目的とする会です。

今、一生懸命ガイドライン作成のための議論を重ねている途上でもあり、このような主旨の違う企画を議論する余裕はないので、お断りしました。

■これからの予定

9月19日(月) 午後1時から 於：常盤台集会場(介護センター2階)

■編集委員でした久世さんが病気のためお亡くなりになりました。作業半ばでの突然の事に我々もショックですが、ご本人も無念かと・・・久世さんのためにも良いガイドラインを作成したい思いです。

ご冥福をお祈りいたします。

■ ニュース配布スタッフの募集

ニュース配布の町内ボランティアの募集をしています。お手伝いしていただける方は、下記の野崎までご連絡下さい。薄謝が有ります。

なお配布もれのある方、ご意見のある方も、編集委員野崎まで (tel3558-2849・fax3558-2945) お問い合わせ下さい

編集後記

今回は、忙しい中、毎月「しゃれ街」ニュースの配布をして頂いている、小さい子供さんをお持ちの、1～2丁目にお住まいのお母様方に、配布活動を通じての感想を伺ってみました。

“毎月1回の配布ですが、草花を見ながら季節を感じています。1ヶ月ごとに、少しずつ変化が見られます。”

“顔を会わせた時には、お読みくださいと、一声かけるようにしています。”

“マンションなどで(ニュースが)ゴミ箱に捨てられているのを見ると悲しい。”

“「これはとてもいい活動ですね」と、声をかけてくださった時は嬉しかったですね。”

“継続こそが、住民の方々に関心を持っていただくことに繋がるのだと思う。”

“「こんにちわ」と声をかけると、「ご苦労様」と返してくれます。嬉しくなります。”

“大きなことはできませんが、少しでも協力できればと思います。”

お母様方に、感謝、感謝です。そして私たち住民の思いが形になるよう、精一杯頑張りたいものです。

編集委員 及川、野崎、服部

ホームページ : <http://www.geocities.jp/sharemachi/>

メールアドレス : sharemachi@hotmail.com